

第79号

看護連盟いわて

■発行所／岩手県看護連盟
〒020-0021 盛岡市中央通3-11-6
グランディール中央3B
TEL／019-625-7666
FAX／019-625-7637
E-mail／kanren-iwate@eins.rnac.ne.jp
■発行責任者／佐々木 志津子
■印刷所／永代印刷(株)

日本看護連盟 スローガン

「届けよう看護の声を!私たちの未来へ」



Contents

岩手県・日本看護連盟会長／岩手県看護協会会長あいさつ	2
国会議員国政報告	3
新役員・支部長紹介・HP案内・顧問あいさつ	4
自民党政略懇談会・看護学校への支援金	5
総会報告・青年部代表者ミーティング	6
研修会報告・研修会のお知らせ	7
入会案内	8



岩手県看護連盟
ホームページ

2026年度会員数

2026年9月30日現在

看護連盟会員 1,098名
賛助会員 125名
看護協会会員 7,043名
加入比率 15.6%



ご挨拶

岩手県看護連盟

会長 佐々木 志津子

残暑の厳しい夏から少し秋の気配を感じる候となりました。会員の皆様にはご健勝でご活躍のことと思います。

この度、岩手県看護連盟会長に就任いたしました佐々木志津子でございます。7月から小林前会長を引き継ぎ「活動の見える化と楽しく活動して成果につなげること」を大切にして会員皆様のご協力のもと一緒に進みたいと考えております。

私は、この春まで現役の看護師として勤務しておりましたので、現場の状況は痛いほどよく分かります。看護連盟の活動は、直ぐに結果の出るものは多くありませんが、コロナの時から看護職の重要性はより広く社会に認識されてきました。そしてこれからの超少子・超高齢化社会に向けて、AIの進化に伴い働き方は変わってくることでしょう。しかし、看護師でなければできない役割を皆様が充分に実感し、生きがいをもって働き続けられる環境を整えることが必須です。看護政策実現という政治的な解決で社会に還元す

るための連盟活動を広めて進み続けたいと考えております。

看護職は法律で守られています。しかし、社会情勢の変化に合わせた法律の改正や制定が求められます。この激動の時代にこそ、**現役の皆様**が「看護の声」を届けて看護政策実現の政治参加をする事はとても重要です。それには、この活動に沢山の方々にご賛同いただき会員数を増やすことが発信力の源になります。

若い人達へ、これは自分たちの**“未来への先行投資”**です。そして中堅の役割を果たされている現役世代の方々へ、今ある待遇は一朝一夕にできた当たり前ではないはずです。看護の**“未来を次世代に”**引き継いでいけるように一緒に活動しましょう。

私が今までの連盟活動から得た一番の学びは、様々な人と繋がるネットワークの大切さです。一人の力は小さくても、仲間と繋がるメリットの大きさは、現場の多職種を含めたチームワークや患者・家族からの看護実践の評価アップに直結することでした。

ここで改めて看護連盟の必要性を沢山の看護職に広めて、『**岩手県の看護は素晴らしいね**』と言われる評価に繋がり、看護職の皆様が自信と尊厳をもって働き続けられるように尽力して参りたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。



岩手県看護連盟の皆様へ ～未来の看護を共に創る～

日本看護連盟

会長 高原 静子

岩手県看護連盟の会員の皆様、そして日頃より地域医療・介護・福祉の最前線でご尽力いただいている全ての看護職の皆様、看護連盟活動にご協力いただいている皆様に心より敬意と感謝を申し上げます。日本看護連盟会長として、貴連盟の機関紙を通じて皆様にご挨拶できることを、大変嬉しく存じます。

現在、我が国の医療提供体制は大きな転換期を迎えています。少子超高齢社会が急速に進行する中、地域包括ケアシステムの深化・推進は急務であり、その中心的な役割を担う看護職への期待と責任はかつてなく高まっています。こうした中で、最前線で奮闘する皆様が、安全に、安心して、そして誇りを持って働き続けられる環境を整備するためには、看護現場のリアルな声を政治の場へ届けることが必要です。

私たち看護職が誇りとやりがいを持ち、その専門性を最大限に

発揮して安全・安心な看護を提供し続けるためには、現場の努力だけでは限界があります。労働環境の改善、看護職の処遇改善、そして人員配置基準の見直しなど、現場が抱える課題を解決するためには、「政治の力」が不可欠です。

これまでも看護職員の処遇改善や働き方改革の推進など、一定の成果を上げることができました。しかしながら、看護の専門性が正当に評価され、働き続けられる社会の実現に向けては、道半ばであり、さらなる制度改革や政策実現が求められています。

私たちが直面する2040年問題などの困難な課題を乗り越えるためには、国政と地方政治が連動し、看護職が一つになって声を上げていくことが何よりも重要です。皆様の力強いご支援と盤石な結束力は、私たちが政策を実現していくための最大の原動力となります。

「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」のスローガンの下、次世代の看護職が希望を持って働ける未来を共に切り拓いてまいりましょう。



ごあいさつ

公益社団法人 岩手県看護協会

会長 相馬 一二三

岩手県看護連盟の会員の皆様におかれましては、日頃より当協会の事業の推進ならびに事業の発展にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、私たち看護職を取り巻く環境は、超高齢社会の進展や地域包括ケアシステムの推進など、大きく変化しており、現場のニーズや課題はますます多様化・複雑化しております。

このような社会の変化に対応していくためには、看護連盟と看護協会は、さらに、「車の両輪」となることが必須です。

看護協会は保健師・助産師・看護師・准看護師の資質向上や地域看護の質の担保、看護職が働き続けられる環境づくりなど実務的・専門的な課題に取り組んでおります。しかし、これらの課題を

抜本的に解決し、看護職の労働環境の改善や手厚い配置標準の実現、処遇改善などを具体的に進めていくためには、政策的な働きかけや法的・制度的裏づけが必要不可欠となります。

厳しい医療・看護現場の声を行政や国政の場へ届け、必要な法改正や予算措置へとつなげていく看護連盟の活動は、安心して働き続けるために欠かせない強力な推進力です。

だからこそ、看護協会も看護連盟も数が重要となります。このことを充分にご理解いただき、今後も自分たち看護職の身分保障につなげていきましょう。

当協会といたしましても、今後も看護連盟の皆様と密接に連携し、現場の声を力強く発信していくとともに、県民の皆様へ安全で質の高い看護を提供できるよう全力で取り組んでまいりたいと思います。

結びに、岩手県看護連盟の今後ますますのご発展と、看護職の皆様、私たち自身のウェルビーイングを大切にしましょう。

衆議院議員 あべ 俊子

主な活動

- 熊本地震・千葉県・北陸豪雨の被災地支援
- 自民党「孤独・孤立対策特命委員会」委員長としての活動
- 内密出産・子どもの自殺対策の推進
- 熊本地恵病院への視察・ヒアリングと政策提言
- 岡山市内への新連絡所の設置と地域活動の継続

熊本地震、また千葉県や北陸での豪雨により被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げます。ご自身も被災される中、地域の方々に寄り添い、支えてくださる看護職の皆さまに、心から感謝申し上げます。

私は現在、自民党「孤独・孤立対策特命委員会」委員長を拝命し、内密出産や子どもの自殺対策など、誰もがが必要な支援につながる社会の実現に向けて取り組んでおります。

熊本地恵病院への視察やヒアリングを重ね、現場の声をもとにした提言が「骨太の方針」にも盛り込まれました。これも、日々現場で尽力されている皆さまのお力があってこそと、深く感謝しております。

また、津山市の事務所を閉鎖し、岡山市内に新たに連絡所を設けました。今後も月に1、2回は岡山を訪れ、これまでお世話になった皆さまとのご縁を大切にまいります。

引き続き、ご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



衆議院議員 たかがい 恵美子



秋冷の候、岩手県看護連盟の皆様いかがお過ごしでしょうか。八月の豪雨災害で被災した皆様心からお見舞い申し上げます。また各所で復旧活動に携わる皆様には改めて感謝申し上げます。とくに看護連盟の皆様には、平素より看護政策の推進及び後進育成にご尽力いただいております、心から敬意を表します。

さて先の総選挙で島根県第一選挙区選出の衆議院議員として初めて議席を頂戴して以来、半年が過ぎました。さっそく党政務調査会において女性と健康プロジェクトチーム座長、性的マイノリティ特命委員長を、衆議院では憲法審査会幹事及び厚生労働委員会委員を務めさせていただきました。15か月間のブランクを強みに変えて、現場感覚に即した充分な政治成果が出せるよう奮闘中です。

年末に向け、介護報酬改定作業が本格化するとともに、これからの社会保障制度改革に係る工程やそれに伴う税制改正の在り方も明確化してまいります。いのちの最前線で活躍する専門職の誇りが守られ、その技術力が正当に評価されるよう、政治が果たすべき役割を適正に担う所存です。

会員の皆様におかれましてはくれぐれもお身体ご自愛のうえ、素敵な笑顔でご活躍くださいますよう、心からご祈念申し上げます。



参議院議員 石田 まさひろ

主な活動

- 参議院自民党・執行部会
- 政務調査会全体会議
- 税務調査会
- 看護問題小委員会
- 社会保障制度調査会
- 看護問題対策議員連盟
- 日本看護連盟通常総会、青年部代表者ミーティング
- 都道府県看護連盟研修会・ポリナビ
- 学会等講演

岩手県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

看護問題対策議員連盟を開催しました。各看護団体から要望があり、特に日本看護連盟・協会から、離島・へき地の看護活動や養成課程、医療提供体制等について要望がありました。これを踏まえ、過疎地域の医療提供体制確保に向けた看護職員の活用や、地方での人材確保に向けたプロジェクトチームが議連内に設置されました。

また、看護学校では受験者数の減少が続き、地域によっては新人看護師の確保が難しく、看護職員の地域偏在が課題となっています。厚生労働委員会での課題を取り上げ、看護職員の養成・確保のあり方について抜本的な検討を訴えました。その結果、「2040年に向けた看護職員の養成確保のあり方に関する検討会」が設置され、今年度内の取りまとめに向けた議論が進んでいます。

看護職員が安定的に確保され、その力を十分に発揮できる環境整備に向け、引き続き尽力してまいります。



参議院議員 友納 りお

主な活動

- 自民党看護問題対策議員連盟で勉強会を開催
- ヤング・プレースレス議員連盟で子ども家庭庁黄川田大臣に申入れ
- 自民党移動政調会にて産後ケア施設を視察
- 第28回参議院議員選挙組織内候補者に決定
- 産後ケア事業のあり方に関する中間提言を小林鷹之政調会長に申入れ
- 昭和100年記念式典
- 水環境大賞【式典】

岩手県看護連盟の皆さま、こんにちは。

日頃より医療の最前線でご尽力いただいておりますことに、心より敬意と感謝を申し上げます。

厚生労働省では、2040年を見据えた看護職員の養成・確保の在り方に関する検討会が始まりました。少子高齢化が進む中、人材確保や、働き続けられる職場環境の整備、専門性の向上は喫緊の課題です。また、自然災害時の支援や超高齢社会の進展に伴う在宅医療・介護ニーズの増加など、看護職に求められる役割は一層大きなものとなっています。

皆さまが安心して力を発揮できる環境整備にしっかり取り組むとともに、産後ケアを中心とした妊産婦のメンタルヘルス支援や、若者支援に取り組む議員連盟の立ち上げなどを通じて、誰もが安心して暮らせる社会づくりの実現に力を注いでいます。

これからも現場の声を大切に、皆さまのお力になれるよう全力で取り組んでまいります。

引き続きご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



新役員・新支部長紹介

令和8年度6名の役員と5名の支部長が交代しました。

挨拶は岩手県看護連盟ホームページ内の「看護連盟について」(支部組織・エリアマップ)をご覧ください。



顧問としての就任挨拶

顧問 小林 長子

本年6月にて岩手県看護連盟の会長職を5年(任期1年を残し)で辞任し、佐々木志津子新会長へバトンを渡しました。この間の役員・支部長・会員の皆様のご支援・ご協力に心より感謝いたします。ありがとうございます。この5年の内3年間は、北海道・東北ブロック代表で、日本看護連盟の中央役員の任を頂き、全国的な活動にも参加させていただきました。ここで得た経験値を元に、今後は岩手県看護連盟の顧問として側面から支援をしていきます。

今、看護連盟の会員数は全国的に減少し、危機的状況にきています。岩手県においても2,000名を超えていた会員が1,000名をこらうじて超えている状況です。10月には、日本看護連盟のパーパス(存在意義)が決定します。会員増に向かって新会長を中心に役員・支部長と一体となって一人でも多くの入会を目指して頑張ってください。

看護協会と看護連盟の会員になることは、看護の現在・未来への投資です。この投資への見返り(配当)は、看護の法律改正や働く環境の改善・処遇改善です。投資以上の見返りを頂いています。現役の看護職の皆さんが何らかの形で恩恵を受けています。この投資をするという継続が専門職である看護の未来へ繋がっていきます。

これからも看護という職業に誇りをもち、未来へつないでいきましょう!

自由民主党岩手県支部連合会・岩手県議会自由民主政策懇談会

●日 時：2026年7月5日(日)

副会長 北川 寿子

●会 場：アートホテル盛岡 3階「青雲の間」

看護団体からは、県看護連盟、県看護協会、県助産師会、盛岡管内病院看護管理者懇話会、県看護教員協議会の5団体9名が参加しました。自民党岩手県連からは、衆議院議員藤原崇支部長はじめ県議会議員16名の参加がありました。

会議に先立ち、県看護連盟佐々木会長と県看護協会相馬会長から自民党岩手県支部連合会岩崎友一会長代理と臼澤勉幹事長に「岩手の看護師の働く環境等についての要望書」が手交されました。

佐々木会長の挨拶では、6月県議会補正予算において「看護師等養成所運営補助」の新設に対する謝辞が述べられました。続いて「要望書」の内容を伝え、さらに各団体の専門領域の現状報告と要望の説明を行いました。

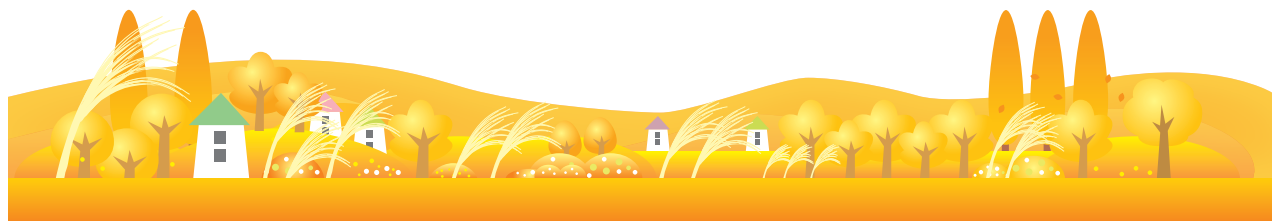
参加の議員から、看護学校の実情や夜勤負担、産後ケアなどについて質問があり、活発な意見交換となりました。政策懇談会は、現場の実情を理解してもらえる貴重な場であることを実感し、今後も継続して関係団体との連携のもとに政策実現に向けた活動を続けて参りたいと思います。



看護師等養成所運営へ支援金補助！

会長 佐々木 志津子

2026年6月岩手県議会において、補正予算で「看護師等養成所運営補助」が新設され、県内の民間立看護師等養成所へ2026年度上半期分の支援金補助が決定しました。事業趣旨は、中東情勢の影響により光熱水費が高騰している看護師等養成所の負担軽減のためとなっています。看護師等養成所の定員割れや物価高騰により経営は年々逼迫しています。日頃より看護連盟活動にご理解をいただいている議員の皆様との連携に感謝しております。これは、未来の看護師を輩出する看護学校の運営に、看護と政治の力で成果につながった結果です。今後も随時、活動の成果を見える形で皆様にお伝えし、賛同してくださる連盟会員を増やす一助にしたいと考えます。



日本看護連盟通常総会参加報告

- 日 時：2026年7月29日(水)
- 会 場：東京プリンスホテル

盛岡南支部長 鳥居 明美

日本看護連盟通常総会に代議員として参加いたしました。今年の総会は、台風による開催日の延期や、前日に発生した「令和8年熊本地震」により熊本県代議員が青年部1名しか参加できないなど、複合的災害リスクの影響を強く受ける中での開催となりました。

冒頭、高原静子会長からは震災の犠牲者への哀悼と被災地へのお見舞いの言葉が述べられたほか、連盟の活動成果として令和8年度診療報酬改定における物価対応や賃上げの実現が報告されました。議事では活発な意見交換がなされ、すべての議事が承認されました。その中で、看護連盟の存在意義（パーパス）の再定義の重要性を実感し、若手の共感を集めて「看護の未来は自分たちで創る」という言葉を実現すべく活動していく決意を新たにしました。

総会終了後には、第28回参議院議員選挙の組織内候補予定者として決定した友納りお氏から力強い挨拶があり、会場からは盛大な拍手が送られました。



岩手県看護連盟通常総会報告

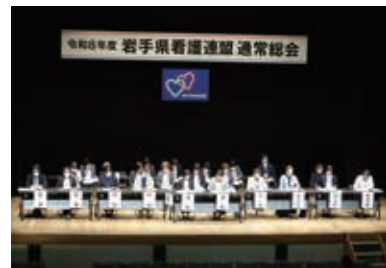
- 日 時：2026年5月24日(日) 13:30～16:00
- 会 場：トーサイクラシックホール岩手 中ホール

盛岡第3支部長 佐藤 公子

岩手県看護連盟通常総会が、会場参加会員176名、役員・支部長27名、委任状736名、計939名のもと成立しました。

特別講演は、衆議院議員阿部俊子先生より「少子高齢化社会の看護政策のこれから」と題し、講演していただきました。看護師不足、業務負担の軽減などの課題に対し、看護は現場あってこそ、岩手は岩手の在り方を議員と協力し考えていく必要があると述べられていました。

報告・審議事項はすべて承認され、報告事項では、看護連盟のパーパス（存在意義）の策定について述べられ、すべての看護職が誇りと希望をもてる未来のため、現場の声を届けていかなければならないと思いました。審議事項の役員選出(案)では、小林会長の退任が伝えられ、今の活動は未来への投資、現状維持ではなく次のことを考えていかなければならないと述べられました。佐々木新会長とともに楽しく活動し成果を出せるよう「活動の見える化」を意識していこうと思いました。



全国青年部代表者ミーティング

- 日 時：2026年7月29日(水) 9:30～12:00
- 会 場：東京プリンスホテルマグノリアホール
- テーマ：「NEXT NURSING LEADERS ～未来への次の一手は、私たちから～」
- 講 演：なぜ私が政治の道を選んだのか
- 講 師：大空幸星 衆議院議員

青年部支部長 石川 泰

大空議員の、ご自身の生い立ちや大変だった経験「望まない孤独」をなくしたいという強い想いに触れることができた講演でした。特に「現場があることが強み」という言葉は、現場の声を大切にする看護連盟の活動の本質と重なり、深く共感したと同時に背中を押された気持ちです。その後のグループワークでは「私たちが青年部代表として活動を続ける原点」や「次の一手」について北海道・東北ブロックで語り合いました。「最初は政治への偏見があった」「周りに活動が伝わらずもどかしい」といった本音を共有し、その上で、全国の仲間とつながる楽しさを原動力に、自分たちの「現場の力」を社会に届けるために、アクションをどんどん起こしていこうと、決意を新たにしています。周知活動やSNS広報、他県とのつながりを強固なものとし、新しい時代を切りひらく看護のリーダーとして、協力しあいながら活動をさらに活発化させていきたいです。



岩手県看護連盟 リーダー研修会

- 日 時：2026年6月13日(土) 13:30～15:30
- 会 場：岩手県医師会館 4階ホール
- テーマ：「存在意義（パーパス）を広げよう」
- 講 師：日本看護連盟 常任幹事 福田淑江 先生
- 参加者：85名

幹事 千葉 樹里



現在看護連盟が直面している「大きな壁」について、日本看護連盟会員数の推移を説明していただきました。特に20代～30代の若手会員が減少している原因と対策について、Z世代は看護連盟に入会するメリットを見いだすことができていない、政治への拒否反応などから入会が減少しているとの説明がありました。そのため、Z世代に共感を呼ぶ言葉でのパーパスの策定が大切であり、パーパスを全会員へ浸透させ、組織への求心力を高めて行くことが今後の看護連盟の会員増加にもつながっていくと学ぶことができました。研修参加者からも「パーパスについて理解することができ、重要性を認識することができた」との声が聞かれました。若手会員の入会を促すためにも、策定されるパーパスを活用し、若者世代の共感を得ながら働きかけるリーダーの役割を発揮していく必要性を感じました。改めて看護連盟の活動について考え続けたいと思いました。

岩手県看護連盟 新規加入会員・会員研修会

- 日 時：2026年7月25日(土) 13:30～15:30
- 会 場：キオクシアアイーナ804B
- テーマ：「風、薫る」看護と政治のつながりで地域を元気に！
- 講 師：岩手県議会議員 神崎浩之 先生(賛助会員)
- 参加者：66名

幹事 井上 祐子



賛助会員でもある神崎議員の熱いお話は、小林顧問の「看護連盟の活動を、私たちが日々伝えたいことを全て網羅してくれました。」という想いと共に参加者の胸に届きました。講演では「風は目に見えないが、その存在は感じることができる」という言葉を用いながら、政治もまた私たちの日常や働く環境に大きな影響を与えていることが語られました。また、看護協会と看護連盟の役割の違いについても説明があり、看護協会が現場の課題を整理・提言し、看護連盟がその声を政治へ届けることで制度や予算の実現につながることを学びました。神崎議員自身が県議会で取り組んだ産後ケア事業の充実についても紹介されました。出産後の母親が抱える不安や孤立を支えるため、宿泊型産後ケアの整備や市町村間で利用しやすい仕組みづくりに取り組んできた内容を聞くことができました。参加者からは「連盟と政治の仕組みがよく分かった」「これまで以上に政治に関心を持ちたい」などの声が聞かれ、看護職一人ひとりの声を届けることの大切さを再認識する有意義な研修となりました。

今後の研修会のお知らせ

岩手県看護連盟・岩手県看護協会 合同研修会

- 日 時：2027年2月20日(土) 13:30～15:30
- 講演テーマ：看護問題が政策につながると未来が変わる(仮)
- 会 場：キオクシアアイーナ804B
- 講 師：日本看護連盟 常任幹事 岡山堯憲 先生

クオリティーの向上



誠実・医療に奉仕

共立医科器械株式会社

●本社 〒020-0013 岩手県盛岡市愛宕町15-9 ☎(019)623-1205(代) ☎(019)653-5301

水沢支店 ☎(0197)25-6221(代) ☎(0197)25-6223	矢巾営業所 ☎(019)613-6771 ☎(019)613-6772	さんりく営業所 ☎(0193)23-0491(代) ☎(0193)23-0976
八戸支店 ☎(0178)43-2923(代) ☎(0178)44-1957	弘前営業所 ☎(0172)55-5081 ☎(0172)55-5082	青森営業所 ☎(017)718-3205 ☎(017)718-3206
秋田営業所 ☎(018)884-7461 ☎(018)884-7465	共立サポートセンター ★ISO9001 認証取得	☎(019)652-8988 ☎(019)623-4161

■医療機器 ■医療情報システム ■病・医院諸設備 ■理化学機器

<https://www.kmic.co.jp/>

現場の声で未来をつくる

看護連盟入会募集

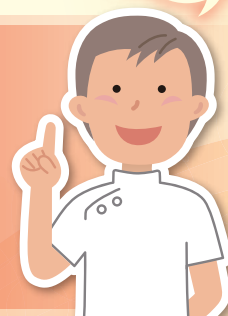
2026年度受付中

身近な方にも
入会を
おすすめ下さい!!

仲間の輪を
広げましょう!



看護連盟は看護協会の提言した
政策を実現するために
国政に代表を送る役割を担っています



会員目標数

2,500名

●年会費

正会員・特別会員	8,000円 (日本看護連盟5,000円・岩手県看護連盟3,000円)
看護職 賛助会員	1口1,000円2口以上
一般 賛助会員	1口1,000円1口以上
学生会員	無料

メール・FAX・TELで随時受付中!

編集
後記

ようやく暑さも落ち着き、朝夕の風に秋の気配を感じる季節となりました。澄んだ空や色づく景色に、ほっと心が和む毎日です。

「風、薫る」という言葉にふれるたび、風が運ぶやさしさや、人と人とのつながりの大切さを思います。

日々の看護もまた、そっと寄り添い、心にあたたかな風を届けることができるのではないのでしょうか。実りの季節を迎えるこの時期に美味しいものをお腹いっぱい、笑いっぱい満ち、自分が大切にしている看護を発揮していきましょう。皆さまの毎日にも穏やかな風が吹きますように…。

(広報委員/藤村紀子、桑原美幸、井上祐子、大澤眞子、浦田琳)



私たちは、働く皆様の健康を
「快適な眠り」でサポートします。

東洋羽毛について
詳しくはこちらをご覧ください



東洋羽毛北部販売株式会社
〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井1-29-13

仙台営業所
☎0120-023-337